

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2008年5月28日

88号

NP0 法人「地域で生きる障害者を支える会」

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562- 5991

いま、また 初志を伝えたい！

## 共に生きよう地域の中で



爽やかな季節ですが、このところ雨といえば、いやに激しく、  
寒暖も初夏にしては大きいように思いますが、みなさまお変わり  
なくお元気でお過ごしでしょうか？

この通信も、88号となりました。毎号、会員・賛助会員の皆様のお顔を思い浮かべながら、そして支援しているメンバーを思いながらおとどけてまいりましたが、記事のひとつでも「そうか」とうなずいていただけたものがあれば幸せです。

\* \* \*

この「支える会」の前・前身ともいえる新作業所準備会(研究会)が、他の障害者グループと共に、地域のご協力を得て、デイサービスの場「活動ホームしもだ」を設立して20年半が経ちます。そこで20周年記念事業を行う事になり、いま記念誌をてがけています。

あれからもう20年たったのかという感慨と、遠い昔の事のように希薄な思い出にしか  
なっていない部分とがあって、不思議な気がします。

開所するときにも記念誌を出しましたので5、10、20と「しもだ」としては4冊目になります。そのつど思いは強く、初めの設立記念誌は、「いよいよ私たちの活動ホームがオープンする。」ということで、キャッチフレーズは、いまでも続いている「共に生きよう地域の中で」そして扉には、「障害者にとって暮らしやすい街は、だれにもすみよいところのはずです」とうたっています。

5周年の記念誌には無事過ごしてきた日々と、ようやく地域とともにある実感と感謝の気持ちがかめられ、10周年の記念誌の扉には、成長する障害者の喜びと感動の詩がかかげられています。そして20年、次の新しき「しもだ」へ何を伝えたいのでしょうか。そうした役割を感じつつ編集しています。

文字にするということは、恥ずかしい思いも残り、いつも躊躇するのですが、今の状況を残しておく事も、次の世代への責任なのではないかと、自らを励ましているところです。

## 平成20年度第一回総会のお知らせ

今年も総会の季節となりました。下記のとおり、NPO法人「地域で生きる障害者を支える会」第一回総会を開催いたします。

諸事ご多忙の事と存じますが、会員の皆様にはお繰り合わせの上、ご出席下さるようご案内いたします。また、顧問会員、賛助会員の皆様も、歓迎いたします。

### 記

日時：平成20年6月30日（月）午前10時30分～

会場：活動ホームしもだ（TEL 045-562-3600）

議題：1）平成19年度活動報告について

2）平成19年度収支決算報告について

3）平成20年度活動計画について

4）平成20年度収支予算案について

5）その他



**ご入会 ご継続 ありがとうございます**

[敬称略]

### 《会員》

藤田 寿子      宮田 忠夫      鈴江 美博      高畠 慶子      高畠勢津子

### 《賛助会員》

高安 希和      新田新之介      新田 恵子      川尻 浩介      川尻 章子

佐々木幸子      由井 昌子      鈴木 玲子      黒沢 千草      笠井満喜子

坂上富美子      有田多恵子      小泉 寿子      桜井 徹      荒井 洋一

荒井奈津美      岡本美知子      赤瀬 福子      清宮 一恵      戸川 慶建

戸川 澄子      小栗 芳久      白川田倫世      高畠 誠      三上 文子

松本 稔

### 《賛助会員団体》

サイドワークネキスト      (有)横浜総合印刷      港北区肢体不自由児者父母の会  
新吉田地区社会福祉協議会・会長小杉久仁夫

(20年5月29日現在)



## めがねの声

### ■ 3つの場を上手に使えたら・・・

この前港北区父母の会の集まりで、伊豆へ旅行に行きました。

ほんとは 母と行くといいのですが、今年も忙しいので、よくなれたボランティアさんをお願いしていきました。わがままかなとも思いますが、外の集まりで、一年に一度お会いするのが楽しみですから、行っています。

一緒の部屋になったIさんのお母さんと、ずっとたくさんお話ししました。Iさんもグループホームに暮らしています。このごろお身体がおかしいし なんとなく暗いので、土曜日と日曜日は家に帰ってきますといいました。

朝から ずっと同じ人たちと一緒に 活動しているからではないかしら とお話ししていました。私も同じなので、よかったと思いました。

\* \* \*

今私は、活動ホームしもだの皆とグループホームでも一緒です。私は、重い障害なので朝から夜お休みまで 通してよく見ていただけるので、よかったと思います。

活動ホームのデイサービスでは、身体の全身運動をしたり 散歩をしたり 歌ったりして体を元気にするところです。グループホームへ帰ると ゆっくり過ごします。昼間の活動のようすも伝えます。一ヶ月に一度は 訪問看護の看護師さんたちが来て、メンバーの健康をチェックしてくださいます。

ただ ずっと一緒のメンバーなので、週末には家に帰ったり、青年クラブに行ったり時々外の人にお会いしたり、旅行に行きたいと思います。

活動ホームと、グループホームと、家の3つを上手に使いたいと思っています。

\* \* \*

ずっと前でしたが、日吉の慶応大学で「福祉のまちネットワーク日吉」の集まりがあって、講演を聞きました。先生が「仕事と 家のあいだにあるような事を、たとえば好きな事をするクラブや、市民活動などを上手につくるといい」といっていました。

その事が 心に残っています。私も、とても大切な事だと思います。

大原友子

\* \* \* \* \*

## お知らせ

6月23日から28日まで大倉山「ギャラリーかれん」にて、第6回

写真展『重度障害者自立への道』を開催いたします。お誘い合わせ、お出かけください。

## 今月のよつばホーム

### よつばホーム

5 / 18に活動ホームしもだのバザーがありました。当日は天気にも恵まれ、大盛況だったと思います。入居者も前日からとても楽しみにしていて、今回はバザー前のグループホームの様子をお話します。



～～～ バザー前日 ～～～

花岡さんは「バザーに何持って行くのお?」「財布はあ?」「お金入れたあ?」と持ち物の心配してます♪かなり楽しみな様子♪ヘルパーさんが「明日は何買うの?」と聞くと「お人形!」と即答。。。ゞ(^o^;) オイオイ

次郎さんは自分なりに入居者とスタッフのパートナー決めをしています。そして買いたいものリストを考えています。どうやら「焼きそば」「焼き鳥」は外せない様です。(￣ー￣)ニヤリ

勢津子さんは、バザー前日久しぶりに青年クラブに参加しました。バザー前日のお菓子作りと言うことで、日吉地区センターへ行き、ケーキの材料の卵をたくさん割ってきたそうです♪

当日はみんなの日頃の行いが良い!?せいか気持ちよく晴れてくれました。楽しく参加できた様です。

・藤田さんは今月初めに入院してしまいました。一日でも早く退院してくれればと思います。

## 第2よつばホーム

一方、第2よつばホーム入居者は、前日全員グループホームへ泊まり、しっかり睡眠とってバザーに備えました。バザー当日、阿部さんは「お～い!」「うほほい^^」とご機嫌で過ごし、山田さんは午前中ハイテンションで過ごし、午後はゆったりモードでした。

章子さんは、午後には疲れはみられたものの、目はキラキラと輝かせ、バザーの雰囲気満喫していました。友子さんは勢津子さんと一緒に前日から日吉地区センターの青年クラブへ参加し、バザー当日は一日外で青年クラブブースを担当していました。

みんなそれぞれ楽しく一日過ごせた様です♪

☆☆お知らせ☆☆

☆第2よつば職員の山口美和子さんが、6/1に挙式を挙げます☆どうぞお幸せに!

PAN!(^-^)/※。.:\*:°`☆、。.:\*:°`★